

前回3月13日の例会記録

出席の状況

会員数 55名 (内出席免除 2名) 出席者数 40名 欠席者数 15名

出席率 74.07% 前々回訂正 77.78%

欠席者 藤岡, 原, 原田, 日笠(常), 加戸, 川本, 菊井, 木本, 小松原, 熊野, 森本, 仲田, 丹治, 植田, (渡辺)

S . A . A .

岡本(和)会員：いよいよIMが近づいてきました。有意義な会になりますよう会員の皆様のご協力をお願いいたします。

氏房会員：今週例会では、私自身にはスマイルの話題はなかったですが、立場上スマイルしておきます。

松村会員：3月年度末にて、なかなか例会に参加できずすみません。スマイルさせていただきます。

西岡会員：先週例会を欠席しましたのでスマイルします。

塩飽会員：誕生日の花束ありがとうございました。

竹本会員：昨日、1年に1回の私の会社の発表会を開催することが出来ました。無事終わりましたのでスマイル致します。

坪井会員：桜の開花が近づいており、今年は花見に家内と行きたいので、期待を込めてスマイルします。

樋口会員：昨日、鳥取フルマラソンに参加してきました。鳥取砂丘スタートから市内をめぐるコース。しっかり楽しんできました。タイムは3時間58分と大満足。自分の出来栄を褒めてスマイルいたします。

8件 23,000円 (累計 962,000円)

会長報告

会長 岡本和夫

ロータリーの未来に対するビジョン

1月、「ロータリーの未来に対するビジョン」についてアンケート調査があり、このほど戦略委員会より報告がありました。この調査では、2万人のロータリアンを含め合計3万人のロータリーファミリーの皆さんがロータリーの未来について意見を寄せています。

- ・理想の団体の特質について、ロータリアンの95%とローターアクターの97%が透明性と説明責任を挙げています。
- ・入会のメリットの上位2つは、1)「地元地域をより良くできる」2)「友情／親睦」である。

また、ロータリーが改善に努力すべき点として、

- ・ロータリアンのうち約4分の1が、クラブによる社会奉仕プロジェクトの数が少なすぎる。41%のロータリアンが、クラブが毎年実施する国際奉仕プロジェクトの数が少なすぎる、と回答しています。
- ・ロータリアンのうち42%、ロータリー学友のうち49%が、ロータリー全体における変化のペースが遅すぎる、と回答しています。
- ・「ロータリーは、会員からのフィードバックに基づいて決定を行っている」に完全に同意したのはロータリアンのうち36%にとどまりました。

3月26日にはIMを開催し、「地域社会に貢献する奉仕活動とは」をテーマに広く参加ロータリアンの意見を聞くことになっております。司会あるいは討論に参加する会員の参考になればと思い紹介しました。

今年度も残り4ヶ月を切り、来月にはガバナー補佐を交えて後期のクラブ協議会があります。総括するにはまだ若干早いとは思いますが、理事役員の皆さんをはじめ会員の皆さんには、目標や数値のうち今期まだやり残している事柄に意を注ぎ、達成していただきたいと思っております。

幹事報告

幹事 末吉賢多

① ロータリーの友3月号を配付しております。

② 4月3日プラザホテル 花見夜間例会のご案内(3月24日締切)、4月12日割烹津山 歴史同好会第12回定例会のご案内、本日のクラブフォーラムの資料を配付しておりますので、よろしくお願いたします。

③ 他クラブ週報を回覧いたします。

④ 本日例会終了後13時30分より、3F「ルビーの間」において、「第9回IM実行委員会」を開催いたしますので、実行委員会の皆様はご出席ください。



例会プログラム

クラブフォーラム I Mについて

◎2016-2017 第8・第9グループ合同 I M クラブフォーラム

1. 当日の役割分担について

I M実行委員会 副委員長 相原 利行



2. 会場の配置図及びレイアウトについて

幹事 末吉 賢多

3. バズセッションに関する注意事項について

I M実行委員会 行事運営委員会(本会議)委員長 堀川 辰也



クラブ情報

「ロータリーの友」について

会報部会委員長 日笠 伸之

平素より週報の編集にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度の運営計画書に会報部会として『「ロータリーの友」の記事を例会や週報で紹介する』とコミットしていたにも関わらず、これまで全くできていなかったことを深く反省しております。



今年度も残り4ヶ月を切りましたが、3月号より記事を紹介させていただき、習慣を作って次年度の会報部会の方にバトンタッチしたいと思います。

さて、「ロータリーの友」をいざ読もうとすると、左から開けてよいのか右から開けてよいのか戸惑いました。左に開けると横書き、右に開くと縦書きということには気づきましたが、その理由について調べたところ納得しました。

言うまでもなく、「ロータリーの友」はロータリーの活動だけでなく、自己啓発にも役立つ情報が盛りだくさんです。

3月号では地元岡山や第2690地区に関する記事がいくつか掲載されていました。

まず、73ページには玉島RC創立50周年行事として、元山陽放送のアナウンサーでもある倉敷芸術科学大学客員教授濱家輝雄さんの「地方創生」をテーマにした記念講演の要旨が掲載されていました。地方創生といっても、歴史・伝統・慣習・文化などを次世代に継承していくことが大切であることを感じました。

また、52ページには米子東RCの地区補助金事業として「米子市の宝『国指定史跡米子城跡』を知り守りつなぐ!」と銘打って、新たな案内板と地図、米子城跡を紹介するパンフレットを制作し、市に贈呈されたことが掲載されていました。まさに歴史や文化を次代に継承する活動と言えるのではないのでしょうか。

また、48ページには鳥取RCのロータリー財団100周年記念例会として、留学生と間伐材を利用したベンチ製作プロジェクトを実施されたことが掲載されており、国際交流を絡めた地域貢献は今後の国際奉仕活動の参考にできるのではないかと感じました。

第4回被選理事・役員会議事録

日 時 2017年3月13日(月)11:30~12:00

場 所 ホテルグランヴィア岡山3階「ルビーの間」

- 1、開 会 会 長 大饗よし江
司会・幹事 樋口 芳紀
- 2、出席者の確認 副 幹 事 日笠 伸之
大饗よし江 坪井雅弘 樋口芳紀 日笠伸之 小菅英司 橘高正剛 末吉賢多 金子栄士
西岡貞則 鴨井利典 花房 茂 仲田錠二 横山俊彦
- 3、会長挨拶 大饗よし江
- 4、審議事項
- ① 年間行事予定について
ガバナー公式訪問例会(10月16日)とガバナー補佐訪問クラブ協議会(10月2日)が決定したとの報告があった。
- ② 地区補助金事業について
山陽放送の情報番組「メッセージ」でこれまで取り上げられた題材の中で、地区補助金事業の対象となるようなテーマと合致するような内容で講演会を行う方向で山陽放送と協議し、テーマ(プロジェクト名)を決定次第、3月末までに地区補助金を申請するとの提案が了承された。
実施予定日時は9月18日、午後1時~3時。予定会場はホテルグランヴィア岡山で、プロジェクト予算書についても提案通り了承された。
- ③ 地区研修協議会のアンケートについて
4月16日実施予定の地区研修・協議会における資料として各部門から回収したものを返信した。
- ④ その他
・クリスマス夜間例会におけるメインイベントの段取りが完了した。
・社会奉仕および国際奉仕活動について新たな取り組みを検討していく。
・クラブ細則をフレキシブルに変更すること活動の幅を広げていきたい。
- 5、報告事項 特になし。
- 6、閉 会 副 会 長 坪井 雅弘

例会情報

本日のメニュー (3月27日(ミリオン和食))

井 鯛の照焼き 井 ゆかり御飯(天盛り) 白髪葱 刻み青葱 花苕荷 (別盛) 刻み海苔
小 鉢 小松菜と桜海老の煮浸し うす揚げ 糸花
温 物 若竹蒸し
赤出汁 三種盛り
香 物 三種

次回のメニュー (4月3日) 花見夜間例会